

毎回の授業について、授業計画に対応した教科書の章末問題を活用して予習（1時間程度が目安）を行うことで授業内容の理解がより一層深まります。授業終了後に章末問題や確認テストの解説を使って復習（1時間程度が目安）をすると授業で学んだ知識が十分に定着します。

学習到達目標	目標① 命名法に基づいて有機化合物を表記できる。 目標② 官能基に基づいて有機化合物を分類・表記できる。 目標③ 立体化学に基づいて有機化合物を分類・表記できる。 目標④ 三大栄養素の構造と特徴について説明できる。
先修条件	
実務経験	
その他	キーワード： 化学結合； 異性体； 立体配置； 官能基； 酸化； 還元 担当教員からのメッセージ： 高等学校で化学を十分に学習していない学生の方たちにも栄養士になるために必要な基礎知識がしっかり身につく授業を目指します。炭素と水素、酸素、窒素とのつながりを知ることで、栄養士として必要な栄養素の体の中での変化のしくみについての知識を体系づけて理解できるようになります。